



「十字架のことば（下）」

— 十字架上の七つの祈り —

大阪月例会メッセージ 2013年1月～5月

メッセージ：中川健一

目次

十字架のことば (5) — 第4のことば：絶望の叫び —	1
序言	2
I. なだめの供え物 (Propitiation) : 神殿のイメージ	4
II. 贖いの代価 (Redemption) : 奴隷市場のイメージ	5
III. 義認 (Justification) : 法廷のイメージ	5
IV. 和解 (Reconciliation) : 家庭のイメージ	6
結論：このことばの現代的意味	7
十字架のことば (6) — 第5のことば：苦痛の叫び —	8
I. イエスは人間性を持っておられた	11
II. イエスはメシア預言を成就された	12
III. イエスは私たちの身代わりとなられた	15
結論：このことばの現代的意味	16
十字架のことば (7) — 第6のことば：勝利の叫び —	17
I. 父から受けた使命が完了した	19
II. 旧約聖書の祭儀法が完了した	20
III. イエスは私たちの身代わりとなられた	22
結論：このことばの現代的意味	23
十字架のことば (8) — 第7のことば：信頼の祈り —	25
I. 暗黒 (44~45 節 a)	27
II. 神殿の幕 (45 節 b)	29
III. イエスの祈り (46 節)	31
IV. 百人隊長 (47 節)	32
結論：	33

十字架のことば (5) — 第4のことば：絶望の叫び —

1. はじめに

(1) 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

*3つのことば

*他人に関するものである。

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

*4つのことば

*自分に関するものである。

(2) 第1のことばは、赦しの祈りである。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23：34)

(3) 第2のことばは、救いを約束することばである。

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 23：43)

(4) 第3のことばは、愛のことばである。

「女の方。そこに、あなたの息子がいます」(ヨハ 19：26)

「そこに、あなたの母がいます」(ヨハ 19：27)

(5) 第4のことばは、絶望の叫びである。

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マタ

27：46)

①第4のことばは、人間の4つの必要に答えている。

2. アウトライン

- (1) なだめの供え物 (Propitiation)
- (2) 贖いの代価 (Redemption)
- (3) 義認 (Justification)
- (4) 和解 (Reconciliation)

3. 結論：このことばの現代的意味について考える。

このメッセージは、第4のことばの意味について考えるものである。

序 言

1. 暗やみ

- (1) 出エジプト記では、エジプトに対する神の裁きのことである。
- (2) 預言書では、終末に起こる神の裁きのことである。

2. 午後3時

- (1) 十字架刑では、罪人がこんなに早く死ぬことはない。

- (2) 午後3時は、午後のささげ物の時間である。
- (3) イエスは、世の罪を取り除くためのいけにえとして死のうとしている。
- (4) この点に関する使徒たちの教えは、明瞭である。

①ヨハネ1：29

「その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。

『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』」

②Ⅱコリント5：21

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです」

③Ⅰペテロ2：24

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです」

3. マタイ 27：46

「三時ごろ、イエスは大声で、『エリ、エリ、レマ、サバクタニ』と叫ばれた。これは、『わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか』という意味である」

- (1) イエスは、父なる神を疑っているわけではない。

①これは、詩篇22：1からの引用である。

②ユダヤ人たちには、そのことがすぐに分かった。

③アラム語による引用である。

- (2) 詩篇22：1を引用した理由は何か。

①罪のためのあがないとして死ぬとは、父なる神との分離を意味する。

Ⅰ. なだめの供え物 (Propitiation) : 神殿のイメージ

②父なる神は、子なる神から顔をそむけるのである。

③イエスは、その分離に耐えられない。それを表現するのが詩篇 22 : 1 である。

* 苦しむ義人の叫び

④イエスは、2重の死を迎えようとしていた。

⑤そしてイエスは、私たちに4つの祝福を与えようとしていた。

Ⅰ. なだめの供え物 (Propitiation) : 神殿のイメージ

1. 旧約時代のいけにえの動物は、すべてイエスを予表するものであった。

(1) 一時的に、罪を覆うもの。

2. 最後の晩餐は、過越の食事であった。

(1) イエスはご自身を、過越の小羊として啓示された。

3. ゲツセマネの園での祈り (マタ 26 : 39 やルカ 22 : 44 参照)

(1) 「杯」とは、神の怒りの象徴である。

(2) 神は、罪に対して怒られる。それが神の性質である。

(3) イエスに罪が転嫁されたとき、父なる神はイエスとの関係を断ち切った。

(4) 私たちには、なだめの供え物が必要である。

II. 贖いの代価 (Redemption) : 奴隷市場のイメージ

1. I コリント 6 : 20

「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい」

(1) 私たちは奴隷である。

- ① 罪の奴隷
- ② 悪魔の奴隷
- ③ 人間の奴隷

(2) 私たちを買い戻すために、イエスの命が代価として払われた。

- ① 私たちの命の価値は、イエスの命である。
- ② 代価が誰に対して支払われたかは、聖書は記録していない。

III. 義認 (Justification) : 法廷のイメージ

1. II コリント 5 : 21

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです」

- (1) 義認とは、罪ある者が「無罪」宣言を受けること。
- (2) 聖化と混同してはならない。
- (3) 最後の裁きにおける「無罪」宣言である。

2. 転嫁という概念

- (1) アダムの罪が、私たちの上に転嫁された。
- (2) 私たちの罪が、最後のアダム (イエス) の上に転嫁された。

IV. 和解 (Reconciliation) : 家庭のイメージ

1. コロサイ 1 : 19~22

「なぜなら、神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行いの中にあっただのですが、今は神は、御子の肉のからだにおいて、しかもその死によって、あなたがたをご自分と和解させてくださいました。それはあなたがたを、聖く、傷なく、非難されるところのない者として御前に立たせてくださるためでした」

2. この和解は一方通行である。

① 私たち人間が、神に対して和解するのである。

(例話) 母の愛を疑う娘とその母

② 神の愛は、人間の親の愛以上のものである。

3. イエスの人格は、そのまま神の性質を反映させている。

結論：このことばの現代的意味

1. 詩篇 22：1～3

「わが神、わが神。どうして、私をお見捨てになったのですか。遠く離れて私をお救いにならないのですか。私のうめきのことばにも。わが神。昼、私は呼びます。しかし、あなたはお答えになりません。夜も、私は黙っていられません。けれども、あなたは聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます」

(1) 詩篇 22 篇は、苦しむ義人の叫びである。

①彼は、「どうして」と問う。

(2) 3 節では、「けれども、あなたは聖であられ」となっている。

①神が罪に対して顔をそむけるのは当然のことである。

2. 詩編 22：25～28

「大会衆の中での私の賛美はあなたからのものです。私は主を恐れる人々の前で私の誓いを果たします。悩む者は、食べて、満ち足り、主を尋ね求める人々は、【主】を賛美しましょう。あなたがたの心が、いつまでも生きるように。地の果て果てもみな、思い起こし、【主】に帰って来るでしょう。また、国々の民もみな、あなたの御前で伏し拝みましょう。まことに、王権は【主】のもの。主は、国々を統べ治めておられる」

(1) イエスの叫びは、勝利の叫びであった。

(2) 私たちがイエスを救い主として信頼する時、勝利の預言が成就する。

【MEMO】

十字架のことば (6) —第5のことば：苦痛の叫び—

ヨハネ 19：28～29

「この後、イエスは、すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就するために、『わたしは渇く』と言われた。そこには酸いぶどう酒のいっぱい入った入れ物が置いてあった。そこで彼らは、酸いぶどう酒を含んだ海綿をヒソプの枝につけて、それをイエスの口もとに差し出した」

1. はじめに

(1) 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

*3つのことば

*他人に関するものである。

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

*4つのことば

*自分に関するものである。

(2) 第1のことばは、赦しの祈りである。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23：34)

(3) 第2のことばは、救いを約束することばである。

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 23：43)

(4) 第3のことばは、愛のことばである。

「女の方。そこに、あなたの息子がいます」(ヨハ 19:26)

「そこに、あなたの母がいます」(ヨハ 19:27)

(5) 第4のことばは、絶望の叫びである。

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マタ 27:46)

(6) 第5のことばは、苦痛の叫びである。

「わたしは渇く」(ヨハ 19:28)

①第4のことばは、魂の苦痛を表現することばである。

②第5のことばは、肉体の苦痛を表現することばである。

2. アウトライン

(1) イエスは、人間性を持っておられた。

(2) イエスは、メシア預言を成就された。

(3) イエスは、私たちの身代わりとなられた。

3. 結論：このことばの現代的意味について考える。

このメッセージは、第5のことばの意味について考えるものである。

I. イエスは人間性を持っておられた

1. イエスの二面性

(1) イエスは神であり、人である。

①これは、使徒たちの教えであり、教会の伝統である。

②これ以外の教えは、異端的教えである。

(2) 第5のことばは、イエスが人間性を持っておられたことを示している。

2. 十字架刑の痛み

(1) 種々の痛みがある。

①傷による痛みと熱

②呼吸ができないこと

③しかし、「渇き」こそが最大の痛みである。

(例話) マムルーク朝時代 (13~16C)、ダマスコで青年将校が十字架に付けられた。

金曜日に十字架に付けられ、日曜日の午後に死んだ。

最初の日は、水を求め続けた。それ以降静かになり、左右を見渡していた。

(2) 兵士たちは、「苦みを混ぜたぶどう酒」(マタ 27:34) を与えようとした。

①イエスはそれを拒否した。

②意識がはっきりした状態で、メシアとしての役割を果たそうとされた。

(3) 兵士たちは、イエスに「酸いぶどう酒」を与えた。

①イエスはそれを受けた。

II. イエスはメシア預言を成就された

- ②これは、ワインビネガーと水を混ぜたもので、兵士たちの飲み物であった。
- ③喉を潤し、最後のことばを大声で発音するためであろう。

II. イエスはメシア預言を成就された

「この後、イエスは、すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就するために、『わたしは渇く』と言われた」（ヨハ 19：28）

1. 「すべてのことが完了したのを知って」

- (1) イエスの意識は明瞭である。
 - ①「苦みを混ぜたぶどう酒」（鎮痛剤）を拒否しておられた。
- (2) 完了したとは
 - ①十字架上の1～4のことばが終わった。
イエスは、人々のための祈りを終えた。
 - ②より広く見ると、イエスの生涯すべてが従順な歩みであった。
 - ③イエスは、ご自分の死が贖罪のために死であることを知っておられた。

2. 「聖書が成就するために」

- (1) 訳文の比較
「この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、『渇く』と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した」（新共同訳）

- ①機械的に、あるいは演技として、「わたしは渴く」と言われたのではない。
- ②「渴き」は現実のものであり、この叫びは真実なものである。
- ③その結果、メシア預言が成就したのである。

(2) イエスの生涯において、数々のメシア預言が成就した。

- ①ここでは、「渴き」に関する預言が成就した。

3. 詩篇 22 : 15

「私の力は、土器のかけらのように、かわききり、私の舌は、上あごにくっついていて、あなたは私を死のちりの上に置かれます」

(1) 第4のことばは、詩 22 : 1 からの引用であった。

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マタ 27 : 46)

- ①この詩篇は、最後は勝利のことばで終わっている。
- ②イエスは、第5のことばでも、詩 22 篇を引用している。

4. 詩編 69 : 21

「彼らは私の食物の代わりに、苦味を与え、私が渴いたときには酢を飲ませました」

(1) この詩篇は、メシアの受難の詩篇である(作者はダビデ)。

- ①これ以外に、詩篇 69 篇が引用されている箇所がヨハネの福音書に 2 箇所ある。

②ヨハネ 2：17 と 15：25 である。

(2) ヨハネ 2：17

「弟子たちは、『あなたの家を思う熱心がわたしを食い尽くす』と書いてあるのを思い起こした」

①これは、詩篇 69：9 のことである。

(3) ヨハネ 15：25

「これは、『彼らは理由なしにわたしを憎んだ』と彼らの律法に書かれていることが成就するためです」

①これは、詩篇 69：4 のことである。

5. 「酸いぶどう酒を含んだ海綿をヒソプの枝につけて」

(1) ここでヒソプが出て来るのはおかしいと考える学者もいる。

①ヒソプは短い枝である。

②しかし、短くても目的に合っている（イエスの体はさほど高くない所にあった）。

(2) 出エジプト 12：22

「ヒソプの一束を取って、鉢の中の血に浸し、その鉢の中の血をかもいと二本の門柱につけなさい。朝まで、だれも家の戸口から外に出てはならない」

①ヒソプは、過越の祭りの際の儀式で用いられている。

②イエスが「神の小羊」として死のうとしていることを示している。

③過越の祭りは、イエスの死によって成就した。

Ⅲ. イエスは私たちの身代わりとなられた

1. 大いなるパラドックス

(1) 命の水の提供者が、渇きで苦しまれた。

①ヨハネ 4：14 では、「永遠のいのちへの水」がサマリヤの女に提示された。

②ヨハネ 7：38～39 では、仮庵の祭りの時に、「生ける水の川」が約束された。

(2) イエスは、「命の水」の源であると同時に、渇きを覚えるお方である。

①イエスの二面性（神であり人である）が現れている。

2. 神の怒りの杯

「そこで、イエスはペテロに言われた。『剣をさやに収めなさい。父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう』」（ヨハ18：11）

(1) イエスは十字架上で、神の怒りの杯を飲み干された。

①この時点が、イエスの「辱め」のどん底であった。

②下りきった先には、上りが待っている。

(2) ローマ 4：25

「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです」



結論：このことばの現代的意味

1. 「キリストにあって」という概念

(1) これを「位置的真理」という。

(2) イエスをメシア（キリスト）と信じる人は、「キリストのうちにある」。

(3) ローマ 8：1

「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません」

(4) II コリント 5：17

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」

(5) キリストの受難と復活は、私が体験したこととなっている。

①すでに起こった。

②やがて完成する。

2. 大祭司という概念

(1) 神と私たちの間に立つ仲介者

(2) ヘブル 4：15～16

「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか」

十字架のことば (7) —第6のことば：勝利の叫び—

ヨハネ 19：29～30

「そこには酸いぶどう酒のいっぱい入った入れ物が置いてあった。そこで彼らは、酸いぶどう酒を含んだ海綿をヒソプの枝につけて、それをイエスの口もとに差し出した。イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、『完了した』と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった」

1. はじめに

* 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

*3つのことば

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

*4つのことば

(1) 赦しの祈り

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23：34)

(2) 救いを約束することば

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 23：43)

(3) 愛のことば

「女の方。そこに、あなたの息子がいます」(ヨハ 19：26)

「そこに、あなたの母がいます」(ヨハ 19：27)

(4) 絶望の叫び

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マタ 27:46)

(5) 苦痛の叫び

「わたしは渇く」(ヨハ 19:28)

①第4のことばは、魂の苦痛を表現することばである。

②第5のことばは、肉体の苦痛を表現することばである。

(6) 勝利の叫び

「完了した」(ヨハ 19:30)

* イエスは、酸いぶどう酒を受けた。

ワインビネガーと水を混ぜた飲料

最後の言葉を明瞭に発音できるように、イエスはこれを受けた。

* 「完了した」は、ギリシア語で「テテレスタイ」という一語である。

この言葉は、商業用語である。

納税したことを証明する領収書が発見された。パピルス。

そこに、「テテレスタイ」と書かれていた。

「全額支払い済み」という意味である。

イエスは、どういう意味でこの言葉を語ったのか。

【訳文の比較】

「完了した」(新改訳)

「成し遂げられた」(新共同訳)

「すべてが終わった」(口語訳)

「事(こと)畢(をは)りぬ」(文語訳)

「何もかもなしとげた」 (リビングバイブル)

2. アウトライン

- (1) 父から受けた使命が完了した。
- (2) 旧約聖書の祭儀法が完了した。
- (3) 私たちの救いが完了した。

3. 結論：このことばの現代的意味について考える。

このメッセージは、第6のことばの意味について考えるものである。

1. 父から受けた使命が完了した

1. 能動的な使命

- (1) マタイ5：17～18

「わたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思っはなりません。廃棄するためではなく、成就するために来たのです。まことに、あなたがたに告げます。天地が滅びうせない限り、律法の中の一点一画でも決してすたれることはありません。全部が成就されます」

- ①イエスは、モーセの律法を全面的に受け入れていた。
- ②イエスとパリサイ人の論争は、口伝律法に関するものであった。

II. 旧約聖書の祭儀法が完了した

(2) イエスは、一度もモーセの律法を破ったことはない。

①荒野での悪魔の誘惑の例

②もしイエスが律法に違反したことがあるなら、メシアとして失格である。

2. 受動的な使命

(1) 1ペテロ 2：22

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした」

(2) イザヤ 53：9

「彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが」

(3) 受難の僕としての使命

①ゲツセマネの園での祈り

②弟子たちに見捨てられる。

③イスカリオテのユダの裏切りに会う。

④そして今、十字架上で苦しんでいる。

II. 旧約聖書の祭儀法が完了した

1. ヘブル 10：1～4

「律法には、後に来るすばらしいものの影はあっても、その実物はないのですから、律法は、年ごとに絶えずささげられる同じいけにえによって神に近づいて来る人々を、完全にすることができないのです。もしそれができたのであったら、礼拝する人々は、一度きよめられた者として、もはや罪を意識しなかったはずであり、したがって、ささげ物をするのは、やんだはずで、ところがかえって、これらのささげ物によって、罪が年ごとに思い出されるのです。雄牛とやぎの血は、罪を除くことができません」

- (1) モーセの律法には、非常に複雑で詳細な祭儀法が含まれている。
 - ①それは、イスラエルの民に、魂の解放を与えるための恵みの方法であった。
- (2) しかし、いけにえは「後に来るすばらしいものの影」である。
 - ①それは、一時的なものである。
 - ②それは、イスラエルの民の罪を一時的に覆うだけで、根本的な解決ではない。
 - ③従って、繰り返し捧げる必要がある。
- (3) 本体は、メシアである。
 - ①メシアのいのちは、完全なささげ物である。
 - ②一度限りのささげ物である。
 - ③メシアの死によって、旧約聖書の祭儀法はすべて完了した。

2. イエスの確信

- (1) イエスはまだ死んでいないが、その心には以下のような確信があった。

Ⅲ. イエスは私たちの身代わりとなられた

- ①呪われた死を遂げること（過越の祭りの成就）
- ②墓に葬られること
- ③三日目によみがえること（初穂の祭りの成就）
- ④40 日後に昇天すること

(2) 復活は、イエスの死が父なる神に受け入れられたことを示している。

Ⅲ. イエスは私たちの身代わりとなられた

1. Ⅱコリント 5：21

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです」

(1) 2つの転嫁

- ①私たちの罪は、イエスの上に転嫁された。
- ②イエスの義は、私たちの上に転嫁された。

(2) 条件は、「この方において」である。

- ①イエスをメシアとして受け入れることが、救いの条件である。

2. ヨハネ 19：30

「イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、『完了した』と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった」

(1) イエスの死の特殊性

- ①その死は、自発的なものであった。

②その死は、イエスの神性を示している。

3. ヨハネ 10：11

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます」

4. ヨハネ 10：14

「わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています」

5. ヨハネ 10：17～18

「わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してください。だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの父から受けたのです」

結論：このことばの現代的意味

1. 救いは、いつの時代でも、「信仰により、恵みによる」
2. 新約時代になり、キリストの福音の全貌が啓示された。

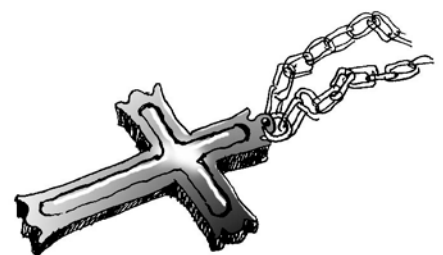
- ①キリストは、私たちの罪のために死なれた。
- ②キリストは、墓に葬られた。
- ③キリストは、三日目に甦られた。

3. キリストを信じるとは、3つのことが完了したことを認めることである。

- ①父なる神の御心は成就した。
- ②旧約聖書の祭儀法は成就した。
- ③私たちの救いも成就した。

4. 信仰以外に、救いの条件を加える必要はない。

- ①義認も、聖化も、栄化も、すべて恵みによる。
- ②今こそ、聖書的キリスト教に立ち返る時である。



十字架のことば (8) —第7のことば：信頼の祈り—

ルカ 23：44～49

「そのときすでに十二時ごろになっていたが、全地が暗くなって、三時まで続いた。太陽は光を失っていた。また、神殿の幕は真っ二つに裂けた。イエスは大声で叫んで、言われた。『父よ。わが霊を御手にゆだねます。』こう言って、息を引き取られた。

この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、『ほんとうに、この人は正しい方であった』と言った。また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、こういういろいろの出来事を見たので、胸をたたいて悲しみながら帰った。しかし、イエスの知人たちと、ガリラヤからイエスについて来ていた女たちとはみな、遠く離れて立ち、これらのことを見ていた」

1. はじめに

* 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

*3つのことば

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

*4つのことば

(1) 赦しの祈り

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23：34)

(2) 救いを約束することば

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダ

イスにいます」(ルカ 23：43)

(3) 愛のことば

「女の方。そこに、あなたの息子がいます」(ヨハ 19：26)

「そこに、あなたの母がいます」(ヨハ 19：27)

(4) 絶望の叫び

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マタ 27：46)

(5) 苦痛の叫び

「わたしは渇く」(ヨハ 19：28)

①第4のことばは、魂の苦痛を表現することばである。

②第5のことばは、肉体の苦痛を表現することばである。

(6) 勝利の叫び

「完了した」(ヨハ 19：30)

(7) 信頼の祈り

「父よ。わが霊を御手にゆだねます」(ルカ 23：46)

*きょうの箇所は、十字架の死のクライマックスである。

*4つの注目すべきことが起こっている。

2. アウトライン

(1) 暗黒

- (2) 神殿の幕
- (3) イエスの祈り
- (4) 百人隊長

3. 結論：このことばの現代的意味について考える。

このメッセージは、第7のことばの意味について考えるものである。

1. 暗黒 (44～45 節 a)

「そのときすでに十二時ごろになっていたが、全地が暗くなって、三時まで続いた。太陽は光を失っていた」(44～45 節 a)

1. 12時から3時まで、暗黒が襲った。

- (1) 十字架の苦しみの後半である。
- (2) 午後3時は、夕刻のささげ物を捧げる時間である。

2. 暗黒は、エジプトに下った裁きのひとつである。

「モーセが天に向けて手を差し伸ばしたとき、エジプト全土は三日間真っ暗やみとなった」(出 10：22)

3. 暗黒は、終末時代に下る裁きのひとつである。大患難時代のことである。

(1) イザヤ 13：10

「天の星、天のオリオン座は光を放たず、太陽は日の出から暗く、月も光を放たない」

(2) エゼキエル 30：3

「その日は近い。【主】の日は近い。その日は曇った日、諸国の民の終わりの時だ」

(3) アモス 5：18

「ああ。【主】の日を待ち望む者。【主】の日はあなたがたにとっていったい何になる。それはやみであって、光ではない」

(4) ゼカリヤ 14：6

「その日には、光も、寒さも、霜もなくなる」

4. この暗黒は、御子イエスが父なる神と切り離されていることを示している。

(1) 永遠の昔から切り離されたことのない父と子の関係が、切断されている。

(2) 私たち罪人が受けるべき裁きを、御子が身代わりになって受けておられる。

(3) その結果、罪びとである私たちと父なる神の関係が変化した。

II. 神殿の幕 (45 節 b)

「また、神殿の幕は真っ二つに裂けた」(45 節 b)

1. 神殿の幕とは、聖所と至聖所を仕切る幕である。

- (1) 年に一度だけ、しかも大祭司だけが、幕の内側（至聖所）に入ることができた。
 - ①至聖所には、シャカイナグローリーが輝いていた。
 - ②神は地域を限定して、至聖所にだけ継続的に臨在された。
 - ③大祭司は、シャカイナグローリーに照らされて奉仕をした。

- (2) イスラエルの民は、いけにえの犠牲を捧げ、大祭司を通してシャカイナグローリーに近づくことができた。

2. 神殿の幕は、イエスの体を象徴している。

- (1) イエスの体が裂かれた時、神殿の幕も裂かれた。
 - ①マタイは「神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた」(27：51) と記している。
 - ②父なる神が人類に手を差し伸べられたことを示している。

- (2) 神殿の幕が裂かれたのは、モーセの律法が破棄されたことを示している。
 - ①時代は、「律法の時代」から「恵みの時代」に移行していく。

3. 「恵みの時代」の祝福

- (1) エペソ 2：18

「私たちは、このキリストによって、両者ともに一つの御霊において、父のみもとに近づくことができるのです」

①もはや、祭司もいけにえも不要となった。

②ユダヤ人も異邦人も、ともにキリストという幕を通して父なる神に近づく。

(2) エペソ 3：12

「私たちはこのキリストにあり、キリストを信じる信仰によって大胆に確信をもって神に近づくことができるのです」

(3) ヘブル 10：20～22

「イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。また、私たちには、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか」

①律法の時代には、大祭司にしかできなかったことが、すべての信者にできるようになった。

②私たち自身が、祭司としての使命と特権を受けたのである。

*礼拝、賛美、感謝

*執りなしの祈り

*父との関係そのものを楽しむ。

③これは、エデンの園の状態の回復である。

④この結末は、新天新地において成就する。

Ⅲ. イエスの祈り (46 節)

「イエスは大声で叫んで、言われた。『父よ。わが霊を御手にゆだねます。』こう言って、息を引き取られた」(46 節)

1. これは詩篇 31：5 の引用である。

「私の霊を御手にゆだねます。真実の神、【主】よ。あなたは私を贖い出してくださいました」(詩 31：5)

(1) これは信頼の詩篇である。

①メシア預言の詩篇である。

2. イエスの死は、自発的なものであった。

(1) ヨハネ 10：14～15

「わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます」

(2) ヨハネ 10：17～18

「わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してくださいます。だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの父から受けたのです」

(3) | ヨハネ 4：10

IV. 百人隊長 (47 節)

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があります」

IV. 百人隊長 (47 節)

「この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、『ほんとうに、この人は正しい方であった』と言った」(47 節)

1. これは異邦人による信仰告白である。

(1) ルカは、異邦人の信仰について記している。

①そのクライマックスが、百人隊長のこの言葉である。

(2) マルコ 15 : 39 では、「神の子」となっている。

①ルカは、読者のことを考慮している。

②ローマ人にとっては、「無罪」ということに大きな意味がある。

2. 最初の異邦人信者もまた、百人隊長であった。

(1) カイザリヤに住むコルネリオという百人隊長

結論：

1. 悲しみの場面

「また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、こういういろいろの出来事を見たので、胸をたたいて悲しみながら帰った。しかし、イエスの知人たちと、ガリラヤからイエスについて来ていた女たちとはみな、遠く離れて立ち、これらのことを見ていた」(48～49 節)

(1) 群衆は、悲しみに襲われた。

①「胸をたたいて」とは、唯一可能な喪に服する動作である。

②罪人のためには、それ以外のことは許されていない。

(2) イエスの知人たちと、ガリラヤの女たちは遠く離れて立っていた。

①十字架に近い所に立つことは許されなかった。

②十字架は通常低かったので、視界が遮られることになるから。

2. 十字架の物語は、ここで終わらない。

(1) 3 日後に、喜びの知らせが伝えられることになる。

①イエスは、死者の中から復活された。

(2) 私たちの応答

①イエスがしたように、信頼の祈りを捧げること。

②いかなる苦難の中でも、信頼の祈りを捧げ続けること。

③祭司としての特権と使命を実行し続けること。



【MEMO】



イエス・キリストをもっと知りたい方へおススメ

もっと多くの人に聴いてもらいたい・・・
そんな思いを込めて、お求めやすい価格にしました。

CD

大阪月例会 2012年9～12月収録



『十字架のことば (上) ー十字架上の七つの祈りー

メッセージ：中川健一 CD4枚組アウトライン付 ￥700

キリストが十字架上で語られたことばの(1)～(4)を解説。十字架のもつ意味は何なのか。そして十字架上での祈りは誰のためなのか。クリスチャンだけでなく、求道者にもおすすめのシリーズです。

CD

東京定例会 講解メッセージシリーズ

『メシアの生涯』第1巻～第6巻 (※以下続刊)

メッセージ：中川健一 CD10枚組 各 ￥1,300



イエス・キリストの生涯を時間系列順に全4福音書から解説。「以前からよく読んでいた箇所なのに、こんな深い意味があったなんて、知らなかった」と驚きの声が多く寄せられています。

東京定例会 講解メッセージシリーズはマタイの福音書、創世記、出エジプト記、ローマ人への手紙などもございます。

CD

大阪月例会 2012年1～7月収録



『新・聖書入門講座』 CD6枚組 アウトライン付

メッセージ：中川健一 CD10枚組 ￥1,300

「人とは一体なんなのか？人の生きる目的とは何か？」そんな疑問をもつ人が増える昨今、聖書から謎を解く。アウトラインがついて学びやすくなっています。未信者の方や、ご家族の方へのプレゼントに最適！

CD

2005年フルクテンバウム博士セミナー

『ユダヤ的視点から見たメシアの生涯』

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

通訳：中川健一

CD12枚組テキスト付 ￥5,000



本格的な聖書研究への第一歩、入門編として最適なものです。四福音書を比較しながら、著者の意図を探って行きます。謎解きをしているような面白さがあり、聴き始めると止まらなくなります。メシアの実像が立体的に浮かび上がって来るはずです。

CD

2001年フルクテンバウム博士セミナー

『イスラエルの祭りに隠されたイエス・キリスト』

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士

通訳：中川健一

CD10枚組テキスト付 ￥5,000



メシアの生涯についての学びを終えたなら、旧約聖書とメシアの関係についての学びに進むことをお勧めします。異邦人クリスチャンは、イスラエルの祭りについてほとんど知識がありません。このセミナーではイスラエルの祭りの中に隠されたメシアの姿を探ります。まさに目からウロコの体験ができるセミナーです。

※この他にも多数のフルクテンバウム博士セミナーシリーズがございます。詳しくはホームページ (www.harvesttime.tv)をごらんください。

BOOK

聖書と合わせて読むとわかりやすい！

小説『日本人に贈る聖書物語』(文芸社出版)



- | | | | |
|--------------|--------|-------------|--------|
| ① 族長たちの巻 (上) | ¥987 | ⑤ メシアの巻 (上) | ¥1,008 |
| ② 族長たちの巻 (下) | ¥840 | ⑥ メシアの巻 (下) | ¥903 |
| ③ 契約の民の巻 (上) | ¥1,050 | ⑦ 諸国民の巻 (上) | ¥819 |
| ④ 契約の民の巻 (下) | ¥882 | ⑧ 諸国民の巻 (下) | ¥1,029 |

「聖書はなんだか難しい…」そんな方にお勧めです。聖書の世界が小説になって、身近にわかりやすく！聖書を知らないかたでも、読みやすい内容。これを読んだら聖書が分かるようになった…と、反響をいただいています。持ち歩きに便利な文庫版が全巻そろいました！商品に関するお問い合わせはハーベスト・タイムへお問合せください。

(※一般書店でもご購入いただけます)

【お問合せ先】ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘 1-21-85 TEL 055-993-8880 FAX 055-993-8883

<http://www.harvesttime.tv> ※ウェブストアからもお求めいただけます